

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

プラチナサポート情報共有メール

No.	688	配信日	2026/5/22	ジャンル	商品知識
テーマ	「サンゴ（珊瑚）」について				

現在チラシにも掲載されているサンゴですが、どんな特徴があり、宝石になるサンゴと普通のサンゴの違いがあるのか。そして、取り扱う際の重要な注意点について共有します。

1. 宝石のサンゴとは

宝石の「サンゴ（珊瑚）」は、植物や鉱物ではなく、海の中に生息する「珊瑚虫（さんごちゅう）」という動物の骨格が発達したものです。真珠（パール）や琥珀（アンバー）などと並び、「有機質宝石」の代表格として古くから世界中で愛されています。

2. 宝石になるサンゴと、普通のサンゴの違い

海の「サンゴ礁」を思い浮かべる方も多いと思いますが、実はすべてのサンゴが宝石になるわけではありません。

- **造礁サンゴ（宝石にならない）** 浅い海に生息し、成長が早いサンゴです。多孔質（穴が多い）で脆いため、加工して宝石にすることはできません。
また、右図は一例であり、造礁サンゴとして分類される仲間は、数十種類にも及びます。
- **宝石サンゴ（宝石になる）** 深海（水深 100m～1000m 以上）に生息します。太陽の光が届かない強い水圧の中で、1cm 育つのに数十年～数百年という極めて長い時間をかけて非常にゆっくり成長します。そのため、骨格が緻密で硬く、磨くと美しい上品な光沢が生まれます。



3. サンゴのお手入れ方法

サンゴはデリケートな宝石です。主成分が炭酸カルシウム（人間の歯や骨に近い成分）であるため、酸や熱、乾燥に弱いという特徴があります。

- **汗や化粧品に注意** 汗や香水、ヘアスプレーなどの酸性物質が付着すると、表面のツヤが消えてしまうことがあります。使用後は柔らかい布で優しく拭き取ってください。
- **保管方法** 硬度が低く傷つきやすいため、ダイヤモンドなど硬い宝石と一緒に保管せず、個別のケースに入れるのがおすすめです。

4. 最後に

サンゴは人間の汗（酸性）でツヤが消えてしまうほどデリケートなため、査定時の白手袋の着用が不可欠です。これはすべてのお品物に共通する基本動作です。手袋の着用がおろそかになり素手で触れてしまうと、お客様に不信感を与えるだけでなく、傷をつけてお品物の価値（査定額）をその場で下げてしまうリスクがあります。プロとしての意識をいま一度引き締め、白手袋の着用を徹底していきましょう。